



小嶋 靖弘さん(78) 啓子さん(73) 迫町・大網西 1970(昭和45)年10月入籍

自分の時間を大切に過ごしていく

★お互いの第一印象は 【靖弘】知り合いの紹介だったんだよ。仕事で荷物を配達したときに、何度か顔を合わせたことがある人だったんだ。 【啓子】おとなしい雰囲気、優しいそうだなって思ったかな。 ★結婚当時の思い出は 【靖弘】当時は、仕事が忙しい状況で、休めなかったから、新婚時代二人っきりでいられたことがあまりなかったね。 【啓子】新婚旅行に大勢の親戚がたくさんついてくる時代で、にぎやかな旅行だったの。作並温泉に行ったけれど、忙しくて二人では一泊二日だったね。 ★お互いの性格は 【靖弘】友達が多くて朗らか。好奇心旺盛なタイプだね。 【啓子】私は病気をし、日常生活は夫の介助が必要なの。でも、不平不満をもらしたことがなく、伴侶に恵まれて、感謝の日々。夫は、土、日にグラウンドゴルフをしに行くのだけれど、自分の時間を大切に過ごしてほしいね。 ★夫婦円満のコツは 【靖弘】料理好きの妻は献立を上手に工夫していて、食の健康管理を通して、二人の絆が深まっている気がするね。 ★これからしたいことは 【啓子】孫の成長を見守ること。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「故郷への思い」

1975年(昭和50年)3月、故郷の津山町にある、当時は柳津線(今の気仙沼線)柳津駅から進学のため上京しました。その時はまだ新幹線はなく、特急ひばりで上野駅に着きました。 4年後、日本信号に就職しました。花の丸の内勤務と喜んでいたら、配属先は思ってもいなかった経理部。当時はパソコン・メールどころか電卓もなく、計算はそろばん。大学の知識ではなく、津山のそろばん塾で習ったことが役に立ちました。もともと伝票計算では、5回計算し、5通りの答えが出てきて汗をかきました。 その後、総務・人事・生産管理の仕事、勤務場所も東京・栃津山町(柳津一丁目)出身 佐藤 敦さん(65) 在京津山会副会長



木・埼玉・大阪と3、4年で変わりました。そうした中、私の信念として変わらなかったのは、「世の為・人の為」と思い、平日頃より仕事をしたことです。 今は亡き私の父は、津山町の森林組合に勤務していました。朝早くから暗くなるまで、山仕事や農作業をする父の姿を見て、私は育ちました。 その当時、父から「世の為・人の為に仕事しなさい」、「おしよすい事はするなよ」と言われたことが、私の教訓として心に残っています。津山町では、父母・兄弟と田植え、稲刈り、いも掘り、植林などをしてきました。 現在の私は、毎日、田んぼや麦畑、遠くに秩父連山・赤城山を見ながら職場へ通っています。その景色から、冬には冬の春には春の故郷の北上川、鏡岳山、田んぼ、畑の光景を思い浮かべています。 NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」が大ヒットし、登米市の北上川の光景をテレビで毎日見っていました。 私のサラリーマン人生も残りわずかとなりました。これからふるさととの為、地域の為に何か出来る事はないかなと考えている今日この頃です。

おらほの道の駅

道の駅林館「森の茶屋」



人気の「ねこの手マドレーにゃん」を両手に持ち、紹介してくれた澁谷店長。バナナ味とチョコ味が選べます。



今月は、道の駅林館「森の茶屋」の澁谷祐介店長にお話を伺いました。 Q人気商品やおすすめ商品などを教えてください

自家製のたれにマイタケ、エノキ、シメジを入れてあぶら麩と煮込み、卵でとじた一品のあぶら麩丼がおすすです。その他、飲食コーナー

では、舞茸ラーメンやR-346ラーメンなどのオリジナルメニューも豊富にそろえています。 また、野菜を求め気仙沼方面から訪れる客層も増えていきます。赤カブ、ダイコン、ホウレンソウなどの豊富な種類の野菜やキノコ類が並び、加工総菜もあり人気があります。 Q訪れるお客さんの様子や来館者に伝えたいことなどを教えてください



テレビ番組で紹介されて以降、注文が多いあぶら麩丼は税込み750円(レストラン営業時間10:00~16:00、ラストオーダー15:30)

広域的に来館していただけたらうれしいです。まずは地元の方々に楽しんでほしいので、いろいろな企画をこれからも考案していきたいです。 【問い合わせ】道の駅林館「森の茶屋」 ☎0220(45)1218

まちの文芸 短歌

作品募集!

●3月号は俳句です。住所・氏名電話番号を記入し、1月31日(月)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

月の夜雁泣く声に窓開けて見あげる空に数羽の影絵 しづもれる熊野の森の道祖神 鈴の音響く銀杏並木 子や孫に検診大事と口癖の我に掛かりぬ焦らず直す 北上川の水流れ穂やか悠々と 清水満たし初春の朝 初詣登る石段大社先 聳える巨樹威風堂堂

高橋 要子 (迫) 高橋 敏子 (登米) 小野寺明子 (登米) 及川総一郎 (東和) 丸山 米子 (東和)

フワフワの新米の味口の中 おかわりしたい百寿の吾は 霜深き朝のしじまに手を合わせ 遠住むひとの癒える日祈る 松の手入れ高いところは任せろと 手伝う息子の器用を知りぬ 雑草なりたし生きる教科書

千葉 源治 (中田) 熊谷たかよ (中田) 熊谷タヘ子 (中田) 佐々木儀一 (石越) 加藤 了子 (南方)

応募総数18作品